

プリノート社



名前はビースト(野獣)でも美しい

あたりは暗くなり、気温はすでにマイナス16℃。雪も降り始める中、傾斜30度の凍結した急斜面で運転するとしたら。完璧な運転条件とはとても言えませんが、メタリックシルバーに輝く流線型のプリノート社の「ビースト」ならものともしません。それもそのはず、この大きなゲレンデ整備用圧雪車は世界一強力です！パワーだけではなく効率も極めて優れており、整備面積が40%以上も広がります。これは環境にとって良いニュースです。

夜も昼も

ゲレンデの整備は、スキーマーやスノーボーダーがバーでくつろいだり、ベッドに入っていたりする夜間に行うのが最適です。しかし、気温が氷点下30℃を下回り、傾斜が45度を超えることもある戸外での夜間の整備作業は、それほど快適なものではありません。プリノートは、どれだけ気温が下がってもコンポーネントがしっかり固定され、油圧機器がシーリングされているよう、ビーストの様々な部分にロックタイト製品を使用しています。



競合他社の同型機種と比較して圧雪面積が45%以上広がっている。つまりゲレンデを他機種より速く整備できるということ。ロックタイト838はこのビーストのアイスタッドとアルミニウム製ブレードの固定に使用されている。

これは本当?

スキーヤーは、急斜面のスタート地点に立ってダウンヒルを眺めているときにその後の展開が分かるといいます。スリリングな加速、冷たい空気が押し寄せ、雪が音を立てて吹きつける。もしあなたがビーストの中にも、見える景色は同じはずです。しかし、そこから先は違います。快適に過ごせる20°Cに設定され、Hi-Fiでクーラー&ドーフマイスターの素敵なラウンジサウンドが流れる中、座り心地のよいラリースタイルのシートに収まる(シートベルトを付ければ前のめりになることもありません)。それから、何よりも凄いのは、数トンの雪を移動させながら急斜面を後退したり、急回転したりできることです。さらに、極端な角度であるにもかかわらず、完全に安定して制御できていると感じられます。527馬力、トルク2,216 Nmのこのマシンは、船と同じくらいパワフルです。急加速や急制動はできませんが、このマシンを止められるものは何もないという感覚を得られるでしょう。



幅7.1メートルの巨大パワーピラー

ビーストの心臓部は、キャタピラー社製のC13 Acert12.5リッターディーゼルターボエンジン。このエンジンは、トルク1,800 rpmで527馬力ものパワーを提供し、Euromot III A ガイドラインに適合している。Bosch Rexroth社製油圧ポンプ(180cc4基)がこのパワーをキャタピラーに伝送し、ティラーとブレードを駆動する。ビーストは性能が優れているだけでなく、デザインも素晴らしく、しかも快適。インテリア・エクステリアのスタイルは世界的に有名なデザインスタジオ、ピニンファリーナ社によるもの。からだに優しいのと同様に目にも優しいデザイン。



ゲレンデを整備するためのサイドウイング

最大の利点

ビーストは、そのパワーと性能により小型のマシンよりもかなり効率的にゲレンデを整備することができるため、時間と費用を最大40%節約することができます。プリノートは、スキー場のインフラビジネスを熟知しているLEITNER Technologiesの傘下にある会社です。LEITNER Technologiesはボルツァーノ県ヴィピテーノを本拠地とするイタリアの複合企業で、スキーリフトとスキー関連設備の分野で世界的に有名であり、都市部のロープウェイと風力タービンの分野に

おける一大勢力でもあります。ドライバーの疲労が蓄積すると、ブレーキを多用したり運転ミスをしたりする可能性が高まってしまうため、ドライバーの気分がフレッシュで、リラックスした状態に保たれるようにすることが重要です。そのため、プリノート社はピニンファリーナ社と共同で、シンプルで直感的に使用できるコックピットを設計しました。その出来栄は当然最高水準であり、ドライバーやスキー場所有者の個々の仕様に適合するようすべて特別注文で製作されます。

安全とコントロール

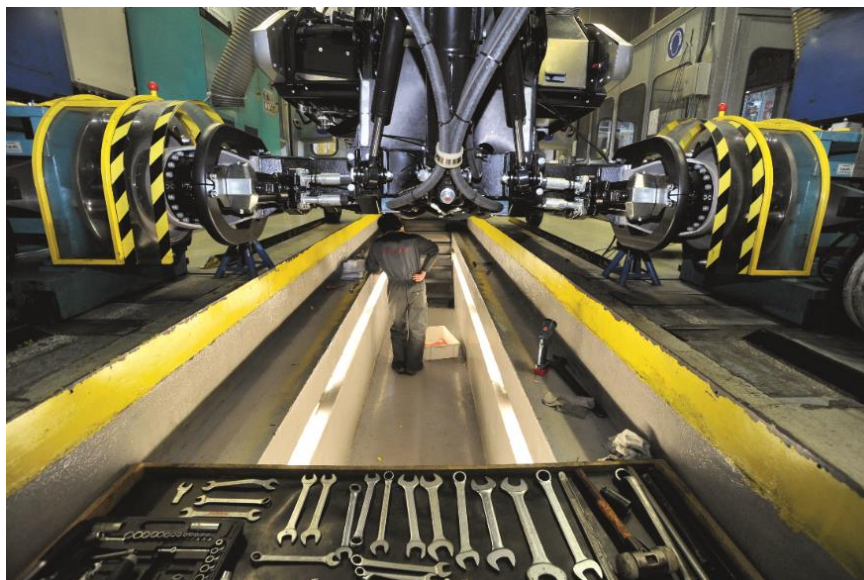
ゲレンデの整備は危険と隣り合わせであり、スキー場ではスロープを整備するだけでなく、危険な積雪の防止にもゲレンデ整備用圧雪車を使用しています。安全なオペレーションに欠かせないのがコントロールです。ビーストは、操作システムと運転条件を統合し、車載コンピューター診断装置にリアルタイムでデータを提供するCAN-bus技術を使用しており、これによってドライバーは周囲の状況を正確に知ることができます。さらに、最悪の事態が発生した場合には、セーフティケージがコックピットを守ります。

信頼性の代名詞

プリノートのマシンはその品質と信頼性の高さで知られています。それは、ピンファリーナ社やキャタピラー社のような最良のパートナーだけを選んでのことからも分かります。しかし、ことわざにあるように、全体としての強さはその中の最も弱いつなぎ目によって決まります。こうしたつなぎ目をできる限り強くしておく取り組みとして、イタリアのヴィピテーノとシュピッツングにあるプリノートの組立工場では、シーリング剤から汎用接着剤、ねじゆるみ止め用接着剤、はめ合い用接着剤まで様々なロックタイト製品を使って作業が行われています。組立責任者のPeter Wieser氏は次のように説明してくれました。「圧雪車はすべて受注生産品であり大量生産が行われないため、ここには製造ラインがありません。」「つまり、私たちは柔軟に対応することを求められています。幸いなことに、ロックタイト



キャタピラーを駆動する車輪はM20ボルトで365 Nmまで締め付けられ、ロックタイト243でボルトを固定する。



には私たちのあらゆる要求に応える最適な製品が揃っています。ラベル表示が明確であり、しかも使いやすい。忙しい時にはこうしたことがとても重要なことなのです。」

イタリアのヴィピテーノ/シュピッツングにあるプリノート社の工場。ここでビーストやその他の機体の完成品が出来上がる。カナダ、アメリカ、地元の工場から出荷されたコンポーネントと部品は、およそ150人の従業員によってすばやくかつ慎重に手作業で組み立てられている。

LOCTITE

現場における信頼性

顧客:

プリノート AG、プリノート SpA
(イタリア、シュピッツィング/ヴィピテーノ)

目的:

ねじゆるみ止め用接着剤

はめ合い用接着剤

シーリング剤

製品

ロックタイト243

ロックタイト572

ロックタイト638



「私たちは手早く作業する必要がありますが、安全や信頼性に関して妥協することはできません。だから作業しやすいロックタイト製品を使っています。お客様が私たちに期待しているのは100パーセントの信頼性です。そして、ロックタイトは100パーセント信頼できるということを私たちは知っています。」
アッセンブリー責任者Peter Wieser氏

キャタピラー、ブレード、ティラーを駆動する油圧機器はビーストにとって非常に重要です。シーリング剤は最大500barの圧力と零度をはるかに下回る気温に対応できることが求められます。アッセンブリー・メカニックのThomas Strickner氏がロックタイト638を使用してホースと接合部にシーリングを施しています。「ロックタイト638は多くの異なる素材に安全に使用することができ、しかもたいへん強力です。過酷な状況に置かれるので機械の不具合が命取りになる可能性があります。ですから、私たちは常に最高品質の製品を納入しなければなりません。」

アッセンブリー・メカニック Thomas Strickner氏

